



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月20日

我孫子市小中一貫教育だより
第387号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

命でつながる我孫子中区カリキュラム～二小・3年生「生命の安全教育」

我孫子第二小学校で Abi-オリジナルカリキュラムの授業が実施されました。我孫子中区の「命でつながる我孫子カリキュラム」の名の通り「生命（いのち）の安全教育」の単元で3年生の児童が「自分を大切にすること」また「相手を大事にするということ」についてクラスメイトと考えを共有しながらじっくりと学習しました。

授業の中盤で「人とのちょうどよい距離」はどのくらいか考えよう。と先生から提案があると、子供たちは思い思いに「こんくらい!」「これくらいかな?」と腕を広げて確認し合いました。そこで、先生から紐が配られ、紐を使って友達との距離について実際に長さを見て考えることになりました。子供たちは自分がちょうどよいと思った紐の長さ

に印をつけた後、長さを友達と見比べて、人によってちょうどよい距離感は違うということを学習しました。

まとめに先生から「人の距離感が守られない場合にどのような行動を取るべきか。」と問われ、各々意見を発表した後に①「いやだ。」と相手に伝える②その場を離れる③大人に相談するということを全員で確認しました。自分と相手の命を大切に、尊重し合える仲であることの大切さを本時の話し合いや紐の長さを「見る」ことで理解を深めていました。



「こほく・あらし ふれあいカリキュラム」～新木小・1年生「あきをみつけよう」

11月7日（金）に新木小学校の1年生で湖北中学校区オリジナルカリキュラム「こほく・あらしふれあいカリキュラム」の一環として、生活科の学習が行われました。自然の中から材料を探し、「秋のおもちゃ」を作ります。

まず、児童が秋の雰囲気味わえるよう、担任から「14ひきのやまいも」の読み聞かせがありました。本の題名を聞いた子供たちは「いもは『個』って数えるんだよ。」「やまいもって何かな。」と興味津々です。14匹が力を合わせて大きなやまいもを掘るお話と、本いっぱい広がる美しい秋の森の絵に、子供たちは秋をたっぷり感じました。

続いて、本時の学習の流れを確認しました。今日のゴールは「作りたい秋のおもちゃを考え、絵や文でまとめる」です。参考となる本を、先生がたくさん集めておいてくれました。また、1人でじっくり考えたり、友達と相談したりしながら考えられるよう、座席の位置は自由です。

子供たちは自分たちで集めたどんぐりやまつぼっくり、木の実や葉を手に取り、じっくり考えました。「すべり台を作ってどんぐりを転がして遊ぶおもちゃが作りたいな」と話す子や、「どんぐりをたくさん集めて、どんぐりのお家を作りたい」と計画を立てる子など、目を輝かせながら活動します。中には「作ったおもちゃを友達と組み合わせ大きなおもちゃにしたいね」と相談する子もいました。作るのが難しそうな計画を立てている子もいましたが、トライ&エラーで思いを形に近づけることも大切な学習です。どんなおもちゃができてあがるのか、今後が楽しみになる学習でした。

